

7月7日全校集会にて

去る7月7日の全校集会は6月の生活目標「運動会を成功させるために一人一人ができることは？」の発表を執行部より行い、その後運動会での学級旗賞、生徒会種目の表彰を行いました。表彰された学級に皆さん、おめでとうございます。(下記参照)最後に7月の生活目標「ロッカーや教室をきれいにするにはどうしたらいいか」について環境美化委員長の島袋一奈さんより取り組み発表がありました。7月、8月は環境美化にご協力をお願いします。

運動会結果

| | | | |
|--------|---------|------|--|
| 学級旗賞 | 各学年1位 | | |
| 1年2組 | 2年1組 | 3年3組 | |
| 生徒会種目 | 「大縄跳び」 | | |
| | 3組兄弟学級 | | |
| 生徒会種目 | 「5色綱引き」 | | |
| 1組兄弟学級 | 3組兄弟学級 | | |



新聞記事より

去る7月1日(土)の沖縄タイムスに本校の3年生大濱さん姉妹の記事が掲載されました。2016年の心温まる記事をきっかけに「その後」ということで取材を受けたそうです。ぜひ内容をお読みください。

笑顔咲き 輝く明日

ハッピーニュースその後

社会の喜怒哀楽を記録する新聞、沖縄タイムス紙面で掲載された、子どもたちの心温まる話題のその後を追った。「低体重で生まれた三つ子」は元気に育ち1年生に。「壊れたベンチを直してと行政に投書、修繕を実現した姉妹」の豊しさは、その後も地域を温めていた。さらに、年始の定番取材「元日ペーパー」記事が二十年以上の時を経て新たな縁となりつなげた、小さな奇跡も紹介する。
(営業部・西里大輝、小林枝里子)



紙面に掲載された写真。ベンチを直してもらい喜ぶ姉の大浜梨枝菜さん(右)と妹の梨々華さん=2016年、名護市東江

「2代目」となったベンチの前で、同じ並びで撮影。大好きなYouTuberのポーズをとる大浜姉妹=6月19日

善意のベンチ 地域の絆

さらに修繕「2代目」が今も活躍

2016年3月、名護市役所に「おじいさんやおばあさんがとってもかわいそうですよ」と、バス停の壊れたベンチを直してほしいと手紙を書き、修繕を実現した名護市東江の小学生姉妹は中学生と高校生になった。大浜梨枝菜さん(17)と梨々華さん(15)の通学路には、あれから再度修理され2代目となった白いベンチが、地域の人々の役に立ち続けている。

■地元愛と行動力は健在

東江区の津波一夫区長(51)は毎日交差点で子どもたちの登校を見守り、姉妹とも笑顔であいさつを交わしている。当時、大浜姉妹の思いに心打たれた津波区長が自らベンチを修繕したこの話題は、

在京テレビ局が取材するほど反響を呼んだ。梨枝菜さんは「バス停の利用者さんや地域の人が顔を覚えてくれて仲良くなれた」と振り返る。

2人は今も一緒に登校する。母尚子さんが「昔からけんかをしたことがない」と話す2人は「昔から変わらないよね」と笑顔。昨年からは、海底火山噴火による軽石問題をニュースで知り、近くのビーチで定期的にプラスチックごみや軽石を拾っている。尚子さんは「2人で出かけたと思ったらごみ袋を抱えて戻ってきて驚いた」と話す。「地域をきれいにすることで喜んでくれる人がいると知った。2人が、自然と始めた活動だ。」

■自主的な支え合い感謝

ベンチは津波区長が修理した後、台風などの影響でまたボロボロになってしまったが、数年前に名護市内にある総合建設業の新垣産業に勤める松田正浩さん(62)が自ら申し出て修理した。「一時期無くなっていたから、戻ってきてうれしかった」と梨々華さん。梨枝菜さんは「みんなでつなげてくれたのがうれしい。これからもきれいなベンチが広がったらいい」と話す。

毎朝区長があいさつしてくれたり、区民運動会が開かれたりする地域行事の活発な地元が大好きだと語る2人。「人が喜んで笑顔になってもらえたりする仕事に就きたい」と、将来は名護に建設予定のテーマパークで「クルーとして働くのが夢」と笑顔で話した。